

# 令和4年度 GIGA校内研修 実践報告

学校名 ( 石川県立ろう学校 )

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・MEXCBT(メクビット)の使い方について[グループ研修]	各部ICT委員	部会・部研等
5月	・各教科でのICT活用についての情報共有[グループ研修] ・授業の中でのICT活用について[グループ研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 研修・ICT委 ICT委	教科部会 部研
6月	・オープン参観でICT活用の引き出しを増やそう[自主研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 ICT委	オープン参観
7月	・ミニ研修会[グループ研修] ・1学期のICTを活用した授業実践を振り返る[アンケート]	ICT委 リーダー	学校自己評価アンケート
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICT機器を授業の中で使う場面が増える。</li> <li>・日常的にICTの話題が出やすい雰囲気を作る。</li> <li>・ミニ研修会の参加者が増える。</li> </ul>		
8月	・教科研での情報共有[グループ研修・オンデマンド動画視聴] ・校内実践報告会[グループ研修] ・情報モラル研修会[グループ研修]	研修・ICT委 ICT委 ICT委	教科部会・SSN 校内研修会 校内研修会
9月	・授業の中でのICT活用について[グループ研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 ICT委	部研
10月	・授業の中でのICT活用について[グループ研修] ・1人1台端末をどのように使っているの?[グループ研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 若プロ ICT委	部研 若プロ
11月	・オープン参観でICT活用の引き出しを増やそう[自主研修] ・ミニ研修会[グループ研修] ・YouTubeへの動画アップ、ライブ配信する際の留意点等 講師 県教員総合研修センター 垣内 貴司 氏	研修・ICT委 ICT委 ICT委	オープン参観 GIGAサポート研修
12月	・授業の中でのICT活用について[グループ研修] ・一人一台端末を活用した授業実践と改善について[全体研修] 講師 金沢星稜大学 新谷 洋介 氏	研修・ICT委 ICT委	部研 校内研修会
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒がICT機器を授業で活用することで、学びが深まったと感じる教員が増える。</li> <li>・ミニ研修会で扱った内容をまとめ、いつでも振り返り、活用できるようにする。</li> </ul>		
1月	・校内実践事例報告会～今年度のICT活用事例を共有しよう～[全体研修] ・これまでのICTを活用した授業実践を振り返る[アンケート]	ICT委 リーダー	校内研修会 学校自己評価アンケート
2月	・各教科での効果的なICT利活用について[グループ研修] ・ミニ研修会[グループ研修]	研修・ICT委 ICT委	教科部会
3月	・今年度の成果と課題を振り返る[アンケート]	リーダー	Googleフォーム

学校の実態に合わせて、グループ研修を中心に校内研修を実施している。

外部人材を活用し、全職員の方向性を合わせている。

※年間を通して、自分の一人一研究授業の時にICT活用の視点をもって授業研究を行う。指導案検討・授業整理会についても同じ。

※各部ICT委員を中心に、日常的にICT活用の実践や使い方等の情報を話題にできるような雰囲気づくりに心がける。

ICT委員会のteamsを活用し、解決が難しそうなことは情報共有する。

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・小中高教員は、「児童生徒のICT端末の活用に関して、校内研修や教員間の情報交換等を通して、自身の教材研究や授業づくりに活かし、主体的・対話的で深い学びの実現のための授業改善に取り組むことができる。」
- ・児童生徒は、「授業で自分のICT端末を使って、わからないことを調べたり、考えをまとめたり、友達と意見交換したりして、課題を解決することに粘り強く取り組むことができる。」

校内研修の実施により、授業で生かしたいという教員の意欲が高まっている。

### 成果

- ・学校自己評価アンケートの結果より、毎月行ってきたICTミニ研修会や日々の職員室での情報交換によって、ICTを活用し、自分の授業に生かされたという回答が93%であった。取り組みの例としては、児童生徒の意見の可視化や共有、共同編集や動画の活用等によって児童生徒の学びを深めることに活用できたようである。
- ・昨年度より継続して使用し、使い方なども研修の内容として取り上げてきた「ロイロノート」を活用した取り組みを挙げた教員の割合は41%であり、本校においてはロイロノートを使って児童生徒の基礎・基本の定着や学びを深めるための活用が定着しつつある。

### 課題

- ・小学部低学年や重複学級では、ICTを活用して思考を深めたり、意見を共有したりする活用が難しいといった回答もあった。児童生徒の実態に合わせた効果的で学びが深まるような活用の仕方考える場を設定することが必要である。